
「アリアルハイドロカーボン受容体（AhR）アゴニスト tapinarof クリームのアトピー性皮膚炎および尋常性乾癬に対する実臨床治療成績の疾患横断的解析：有効性・安全性・治療継続率および治療休薬期間に着目した単施設後方視的研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2024年11月1日から2026年3月31日の期間に、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科においてアトピー性皮膚炎または尋常性乾癬と診断され、タピナロフクリームの処方を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

この研究では、当院で治療を受けたアトピー性皮膚炎または尋常性乾癬の患者さんを対象に、タピナロフという新しい外用薬（ブイタマー[®]クリーム）が、どのくらい効果があつたか、安全に使い続けられたかを調べることを目的としています。具体的には、過去の診療記録をもとに、皮膚の症状がどの程度改善したか、副作用があつたか、治療がどのくらい続けられたか、他のお薬との併用があつたかなどを後ろ向きに分析します。このお薬は、炎症を抑えるだけでなく、皮膚を守るバリア機能の改善や抗酸化作用など、これまでのステロイドや免疫抑制薬とは異なる働きをするのが特長です。そのため、治療の幅を広げる新しい選択肢として注目されています。本研究の結果は、今後、患者さん一人ひとりの症状や背景により合った治療を選ぶ際の参考となることが期待されます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年6月4日開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究は、新たに患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることではなく、研究対象者の背景・血液学的検査値・症状および所見などの情報をこれまでの外来診療でのカルテの記載を

解析して行う研究です。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター皮膚科において、研究責任者である高村 さおりが管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

アトピー性皮膚炎または尋常性乾癬と診断された患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 飯野 奏（研究分担者）

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 福田 知雄（研究分担者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3637（土日祝日を除く 9 時～17 時）

○研究課題名：アリアルハイドロカーボン受容体（AhR）アゴニスト tapinarof クリームのアトピー性皮膚炎および尋常性乾癬に対する実臨床治療成績の疾患横断的解析：有効性・安全性・治療継続率および治療休薬期間に着目した単施設後方視的研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科 高村 さおり